

PRESS RELEASE

2017 / 2 / 24

ロシア科学アカデミー図書館所蔵
川原慶賀の植物図譜

The Botanical Illustrations of Kawahara Keiga

from the Collection of the Russian Academy of Sciences Library

2017年4月8日（土）－5月21日（日）

埼玉県立近代美術館

長崎の絵師、川原慶賀（かわはらけいが、1786-1860?）は江戸時代後期、日本人の立ち入りが厳しく制限されていた出島の出入りを許され、オランダ商館の求めに応じて、日本の様々な文物を描いた膨大な数の絵画を制作していました。

とりわけ、慶賀は出島のオランダ商館の医師として来日したドイツ人の医師・博物学者、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト（1796-1866）と交流を深めました。日本の自然や生活文化、特に植物に対して強い関心を持ったシーボルトの要求に応じて西洋画法を習得した慶賀は、彼に随行し、長崎や江戸参府の途上で、植物の姿かたちを正確にうつした写生図を数多く描きました。シーボルトがヨーロッパに持ち帰った慶賀や他の絵師による植物図譜のうちおよそ 1,000 点はシーボルトの死後ロシアに渡り、現在ロシア科学アカデミー図書館に収められています。

慶賀の人物像を明らかにする資料は少なく、その多くの部分は謎に包まれています。しかし植物図譜をはじめ、長崎の風景や人々の暮らしを描いた作品は、この画家が鋭い観察眼と、見たものを生き生きとうつしとる高い技量を持っていたことを物語っています。

本展では、ロシア科学アカデミー図書館が所蔵する川原慶賀の植物図譜から125点を紹介するとともに、国内に所蔵されている作品資料を通して、慶賀の眼が何を見つめ、どのようにうつしとっていたのかをたどります。

展示構成と主な出品作品 *章タイトルは仮題

第1章：異文化への眼 — 長崎の風景画や、出島等を舞台にした異国的な風俗画や人物画を紹介します。

《長崎港図》（長崎歴史文化博物館蔵）、《ブロムホフ夫人図》（長崎歴史文化博物館蔵）など。

第2章：日本の暮らし — 日本の風俗や人々の生活の様子、人生儀礼を主題にした作品を紹介します。

《人の一生》（長崎歴史文化博物館蔵、[画像⑤](#)）、《年中行事絵》（長崎歴史文化博物館蔵）など。

第3章：植物をうつす — シーボルト旧蔵の《植物図譜》125点とその周辺資料を紹介します。

《植物図譜》（ロシア科学アカデミー図書館蔵、[画像①②③④](#)）、《シーボルト像》（歸空庵蔵）、《狩野家及南画家寄合画帖》（個人蔵、[画像⑥](#)）、『慶賀写真草』（長崎歴史文化博物館蔵）など。

関連イベント

■ 講演会「川原慶賀の長崎歳時記」

講師：下妻みどり（ライター、『川原慶賀の「日本」画帳』編著者）／4月15日（土）15:00～16:30（開場は30分前）／2階講堂／定員：100名（当日先着順）／料金：無料／内容：川原慶賀が暮らした江戸後期の長崎は、どんな様子だったのでしょうか。精霊流しやくんちなどの長崎らしい祭から、一般的な年中行事まで、現代の生活にも通じる歳時記と、植物画とはまた違った慶賀作品の魅力をご紹介します。

■ 講演会「川原慶賀の植物図譜」

講師：大場秀章（東京大学名誉教授）／4月23日（日）15:00～16:30（開場は30分前）／2階講堂／定員：100名（当日先着順）／料金：無料／内容：シーボルトに見出された長崎の絵師、川原慶賀。ロシアに伝えられた慶賀の植物図譜の特徴とその魅力について、シーボルトとの交流や江戸時代の植物学の興隆といった時代背景とともにご紹介します。

■ ミュージアム・コンサート

①4月22日（土）／出演：川嶋哲郎（サクソ、フルート）、②5月7日（日）／出演：井上陽介（ベース）／各日とも15:00～（開場は30分前、演奏時間は約60分）／地階センターホール／定員60席（当日先着順）／料金：無料／内容：ジャズプレイヤーの枠を超えて活躍中のミュージシャンが花にまつわるナンバーなどをお届けします。

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

4月29日（土・祝）、5月13日（土）／各日とも15:00から30分程度／2階展示室／企画展観覧料が必要です。

■ご希望のグループに「川原慶賀の植物図譜」の見どころをご案内します（予約制）。お問い合わせ・ご予約は電話048-824-0110 教育・広報担当まで。

展覧会情報

1. 会期 2017年4月8日(土)～5月21日(日)
休館日：月曜日（5月1日は開館）
2. 開館時間 10時～17時30分（展示室への入場は17時まで）
3. 観覧料 一般1000円（800円）、大高生800円（640円）
（ ）内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳をご提示の方（付き添い1名を含む）は無料です。
※併せてMOMASコレクション（1F展示室）もご覧いただけます。
4. 主催 埼玉県立近代美術館
5. 後援 駐日ロシア連邦大使館、ロシア連邦交流庁
6. 特別協力 ロシア科学アカデミー図書館、長崎歴史文化博物館
7. 協力 フィンエアー、フィンエアーカーゴ、JR東日本大宮支社、FM NACK5
8. 企画協力 アートインプレッション
9. 出品点数 約180点 *会期中、作品の一部展示替えを行います。
10. 会場案内／アクセス

埼玉県立近代美術館 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤9-30-1

電話048-824-0111 FAX048-824-0118

<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>

JR京浜東北線北浦和駅西口から徒歩3分（北浦和公園内）。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅までそれぞれ約35分です。当館に専用駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります（企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き）。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。ただし台数に限りがありますので予めご了承ください。

広報用画像



①



②



③



④



⑤



⑥

- ・画像の掲載については、当館にお問い合わせください。当館から画像をデータにてご提供いたします。ご請求はメールで、kouhou@aria.ocn.ne.jp（広報担当・落合）までお願いします。
- ・画像の掲載にあたり、本展では著作権使用許諾申請が必要ありません。
- ・画像を掲載する場合、下記キャプションおよびロシア科学アカデミー図書館が指定したクレジットを記載してください。また作品部分のトリミング、文字載せなどはしないようお願いいたします。

■キャプション・クレジット

- ① 川原慶賀《クサボケ》1824-1828年頃、鉛筆、墨、彩色・紙
- ② 川原慶賀《ツクシシャクナゲ》1824-1828年頃、鉛筆、墨、彩色・紙
- ③ 川原慶賀《ピワ》1824-1828年頃、墨、彩色・紙
- ④ 川原慶賀《ムベ》1824-1828年頃、墨、彩色・紙
 - ①～④ ロシア科学アカデミー図書館蔵
《Russian Academy of Sciences Library》. St. Petersburg 2017
- ⑤ 川原慶賀《人の一生「お見合い（出会い）」》19世紀、絹本着色、長崎歴史文化博物館蔵
- ⑥ 川原慶賀《狩野家及南画家寄合画帖》1841（天保12年）頃、彩色・絹、個人蔵

お問い合わせ

展覧会担当：嶋原、大越 / 広報・画像に関してのお問い合わせ：落合
電話 048-824-0111（代表） / 048-824-0110（学芸部） Fax 048-824-0118

巡回館情報

「ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜」展は、下記の会場でも開催します。

■下関市立美術館 2017年8月5日（土）～9月24日（日）
電話 083-245-4131 Fax 083-245-6768

■長崎歴史文化博物館 2017年10月7日（土）～11月26日（日）
電話 095-818-8366 Fax 095-818-8407